

令和2年6月1日発行 第3号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115 北葛飾郡松伏町上赤岩 711

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

TEL 992-0051

発行責任者 校長



随感随筆 ～開校35年 本校の歴史と伝統～

校長

6月 水無月。紫陽花が緑色のつぼみをつける時季となりました。一雨ごとに色づいて鮮やかになっていく様子が今から楽しみです。大きな騒ぎの中でも、変わらない季節の営みに、心が癒されます。

さて、生徒の皆さんはこの3か月に及んだ臨時休業期間中をどのように過ごしていたでしょうか。学校では、先生たちが、生徒がいるとなかなかできない図書室や体育館、特別教室の少し大掛かりな整備を行ったり、職員室や印刷室においてある共用椅子の背もたれにカバーを付けたりしました。また先日は、PTA 本部役員の方々が、PTA 会議室の棚などを整理し、不要なものを廃棄しました。

そのPTA 室の整理の最中に、古い写真がたくさん出てきました。撮影された日時が載っている写真があって、1988年から1992年までに撮影された写真であることがわかりました。今からおよそ30年前の写真です。おそらく当時のPTA 広報委員の方たちが撮った写真がずっと残っていたものなのでしょう。ですから、保護者の視点で、当時の学校生活の特徴的な、そして生徒が一番生き生きとするシーンが収められた写真だと考えられます。

体育祭を記録した写真からは、どうやら当時はクラスごとの仮装行列を行っていたことがわかりました。先生の顔に化粧をほどこす生徒たちや、グラウンド上で一緒に仮装してポーズをとる生徒と先生の写真もありました。また、現在では安全上の理由からできなくなった男子生徒の組体操の写真もとても多く、上半身裸で高いタワーを作っている写真からは、誇らしげな生徒の雰囲気や、撮影している保護者の応援する気持ちが感じられました。またこれも現在は行われていませんが、カラフルな大きな布をもって踊る女子生徒の写真も多数あり、当時の体育祭の中心的な演目であったことがわかります。

そして、今では全くなくなってしまった行事の記録もありました。それは「体育祭の前夜祭」です。確か開校後8年目まで行われていたと聞いたことがありましたが、実際に写真で見るとは初めてです。グラウンドにいくつも井桁を組んで作製した火文字に火を付けようとしている代表生徒、赤々と燃える火文字、夜空に上がった打ち上げ花火、フォークダンスを踊る生徒の様子が写真に収められています。写真の中の生徒や先生の表情から伝わってくる、当時の熱いエネルギーに心を揺さぶられました。

本校は、今年度で開校35年目です。卒業生数は昨年までで6,666名、第1回本校卒業生の方々は49歳になられると思います。この松伏第二中学校は、一瞬一瞬の時と、たくさんの人の思いが積み重なって、現在存在している、そんなことを改めて考え、気が引き締まる思いがしました。

結びに、令和2年度・2020年度は、2か月遅れとなりましたが、スタートします。子どもたちの声がようやく学校に戻ってきて、本当にうれしいです。コロナウイルス感染拡大防止に努め、子どもたちを大切にして、さらに学校を発展させる所存です。変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。